I-O DATA

デジタルTFT液晶ディスプレイ

LCD-DV15H
LCD-DV141H

取扱説明書

ダミー表紙

67863-02

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、株式会社アイ・オー・データ機器サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す場合には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
7) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
8) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
9) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is only suitable for use in Japan. We shall have no liability for any damages arising from the use or inability to use this product in other countries. We neither provide any technical support and/or after-service for the use of this product abroad.)
11) お客様は、本製品を一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
12) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows,MS及びMS-DOSは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

LCD-DV15H LCD-DV141H 取扱説明書
2000.Jul.12　67863-02
発　行　　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1

© 2000 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

ここにＶｅｒシールをお貼りください。

Ｖｅｒシール

お読みになる前に

■警告及び注意表示

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告



異常な熱さ、煙、異常音、異臭が発生したらすぐに使用を中止してください。

万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。



修理・改造・分解はしないでください

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社サポートセンターにご依頼ください。分解・改造した場合は保証期間であっても有償修理となる場合があります。



通気孔をふさがないでください

通気孔は内部の温度上昇を防ぐものです。物を置いたり立てかけたりして通気孔をふさがないでください。内部の温度が上昇し、火災や故障の原因になります。



装置内部に異物をいれないでください

内部に金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。



ケースカバーの取り外し

ケースカバーを取り外さないでください。内部には高電圧部分が数多くあり、万一触ると危険です。



ディスプレイケーブルの扱いにはご注意ください

ディスプレイケーブルは付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、ディスプレイケーブルが傷み、火災や感電の原因になります。

- ものをのせない
- 引っ張らない
- 折り曲げない
- 押しつけない
- 加工しない
- 熱器具のそばで使わない



電源プラグの抜き差し

- 電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行ってください。電源コードを引っ張ると一部が断線し、火災の原因になります。
- 電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。



電源プラグなどの接触不良

電源プラグはほこりが付着していないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。接触不良で火災の原因になります。



落下などによる衝撃

落下させたり、ぶつけるなどの衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。また、表示面のガラスや内部の FL 管が破損したり、故障の原因となります。



使用する電源

付属の AC アダプタを使用してください。付属の AC アダプタ以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。



本製品(ソフトウェアも含む)は日本国内仕様です

国外では使用しないでください。国外で使用した場合、弊社は一切責任を負いかねます。



本製品は下記のような場所で使用しないでください

故障の原因になります。

- 湿気の多い場所
- ほこりの多い場所
- 振動や衝撃の加わる場所
- 通気孔がふさがる場所
- 温度差の激しい場所
- 不安定な場所



温度差のある場所への移動

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると、火災や感電の原因になります。使用する場所で電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。



アルミ電解コンデンサーについて

装置内部の表示制御基板などに表示されている電解コンデンサーは、寿命部品です。寿命時間（約５年）以上使用される場合には、表示制御基板を交換してください。電解液の漏れや枯渇により、火災や感電の原因になります。また、装置の故障の原因にもなります。



ディスプレイ部の破損

- ディスプレイ部が破損したとき、液体状のもの（液晶）がしみ出すことがあります。この液体には触れないでください。液体が手についたときは、水で洗ってください。万一、口に入ったときは水でゆすぎ、目に入ったときは水で洗い流してから、医師の診断を受けてください。
  また、衣服に液体が付着した場合は、石鹸で水洗いしてください。そのまま放置すると、衣服を傷めるおそれがあります。
- ディスプレイ部はガラスで出来ています。ディスプレイ部が破損したとき、ガラスの破片には直接触れないでください。けがをする恐れがあります。

⚠ 注意



金属など端面への接触

パソコンの移動などで金属やプラスチック部分に万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。また、すぐに電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。

ディスプレイケーブルについて

- ケーブルは足などに引っ掛けないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがや接続機器の故障の原因になります。
- ケーブルの上に重量物をのせないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接触不良などの原因になります。

眼精疲労について

ディスプレイを見る作業を続けるときは、作業場を 300～1000 ルクスの明るさにしてください。また、連続作業をするときは、 1 時間に 10 分から 15 分程度の休憩をとってください。長時間ディスプレイを見続けると、眼に疲労が蓄積されます。

電波障害について

ほかのエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離す。
- テレビやラジオのアンテナの向きを変える。
- コンセントを別にする。

液晶パネルの表示面から、漏れた液体（液晶）には触れないでください。

誤って液晶パネルの表示面を破壊し、中の液体（液晶）が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけないようにしてください。万が一、液晶が目や口に入った場合は、すぐに水で 5 分以上洗い、医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣服に液晶が付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。そのまま放置すると、皮膚や衣服を傷めるおそれがあります。

本製品は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく製品です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

お取り扱い

画面の焼き付きを防ぐために

同じ画面を長時間表示させていると画面の焼き付きを起こすことがあります。焼き付きを防ぐために次のことを行ってください。

- パソコンやディスプレイを使用しないときは電源を切ってください。
- なるべく、省電力機能またはスクリーンセーバー機能をご使用ください。

ディスプレイの設置場所

- 風通しの良い所へ設置してください。
  内部の温度上昇を防ぐため、通気孔をふさがないでください。
- 高温にならない場所へ設置してください。
  直射日光のあたる場所、ストーブのような熱器具の近くに置くと、故障の原因になります。
- 屋内に設置してください。
  屋外で使用できる構造にはなっていないので、故障の原因になります。
- 腐食性ガスの発生しない所、振動のない場所に設置してください。
  油煙や腐食性ガスの発生場所、振動が継続する場所に置くと、故障の原因になります。

お手入れのために

- 表示面が汚れた場合は、脱脂綿か柔らかいきれいな布で軽く拭くか、拭く前に軽く息を表示面に吹きかけてから拭き取ってください。
- 表示面以外の汚れは、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませて軽く絞ってから、軽く拭いてください。ベンジンやシンナーなどの溶剤は避けてください。
- 表示面に水滴などをつけたまま放置しないでください。水滴などがついた場合はすぐに脱脂綿や柔らかい布などで拭き取ってください。放置しておくと表示面が変色したり、シミの原因となります。また、水分が内部へ侵入すると故障の原因となります。

廃棄について

本製品内のバックライトの中には水銀が含まれています。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本製品を捨てないでください。ディスプレイの廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則にしたがってください。

バックライトについて

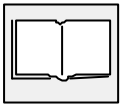
● 本製品に使用しているバックライトには寿命があります。(LCD-DV15Hの場合：約25000時間、LCD-DV141Hの場合：約50000時間)
画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用のバックライトユニットへの交換が必要です。
※ご自分での交換は絶対にしないでください。交換等につきましては、弊社サポートセンターへお問い合わせください。
※バックライトは消耗品ですので、保証の対象にはなりません。

1)液晶パネルは非常に高価です。有償による液晶パネルの交換は高額になることを予めご了承ください。
2)バックライトの寿命は目安です。多少異なることもございますので、予めご了承ください。

そのほか

● ご使用にならないときは、ほこりが入らないようカバーなどをかけてください。
● 表示部の周囲を押さえたり、その部分に過度の負担がかかる状態で持ち運んだりしないでください。ディスプレイ部が破損するおそれがあります。
● ディスプレイ部の表面は傷つきやすいので、工具や鉛筆、ボールペンなどの固いもので押したり、叩いたり、こすったりしないでください。
● 液晶ディスプレイに表示中、表示面上に黒点(点灯しない点)や輝点（点灯したままの点）がある場合があります。これは、液晶パネル自体が99.99%以上の有効画素と0.01%の画素欠けや輝点をもつことによるものです。故障あるいは不良ではありません。予めご了承ください。
● 本製品の取り付けや取り外しのときは、必ず、パソコン本体及び周辺機器の電源を切ってから行ってください。
● 本製品の内部の点検・調整・修理は弊社修理係にご依頼ください。送付先は巻末を参照してください。

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。



本書をお読みになるにあたって

● 呼び方

ここでは、本書内で呼ばれている言葉の意味について説明しています。

呼び方	意　味
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows 98/95	Windows 98およびWindows 95の総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Operating System
Windows	Windows 98、Windows 2000およびWindows 95の総称

もくじ

お読みになる前に i
目次 ix

はじめに

特徴 2
箱の中には 4
動作環境 6
ユーザー登録しよう 7
実行用ディスクを作ろう 8

取り付けよう

各部の名称と機能について １０
取り付けよう １２
取り付けは終了しました １４

Windows 98/95でご使用の場合

インストールしよう １６
確認しよう ２７

Windows 2000でご使用の場合

インストールしよう ３０
確認しよう ３５

画像を調整するには

ボタンについて 38
各設定項目の詳細 39

ふろく

困った時には 44
省電力モードにする 45
省電力設定について 47
用語解説 48
ハードウェア仕様 51

サポートセンターへのお問い合わせ 54
保証について 55
サポートソフトのバージョンアップ 56
修理について 57

はじめに

ここではまず箱を開けてから、作業に取り掛かるまでについて説明します。

特徴(P2)

本製品の特徴について説明します。

↓

箱の中には(P4)

本製品内にどんな物が入っているか説明します。

↓

動作環境(P6)

本製品が動作する環境について説明します。

↓

ユーザー登録しよう(P7)

ユーザー登録の方法について説明します。

↓

実行用ディスクを作ろう(P8)

本製品のサポートソフトをバックアップする方法を説明します。（Windows 98/95/2000のみ）

特徴

本製品は、以下のような特徴を持っています。

● 高画質

ビデオメモリのデジタル画素データを、D/A及びA/Dコンバータを通さず、
デジタル方式で伝達し、ディスプレイ表示しますので、データの劣化がありません。
アナログ液晶ディスプレイのようにクロックフェーズの調整は不要です。

● DVI規格に準拠

弊社製GA-S2K32/PCI、富士通社製FMVシリーズ、IBM社製パソコンなどで
採用されているデジタルインターフェイス規格を採用しました。
弊社製GA-SV4シリーズ、NEC社製PC98-NXシリーズ、富士通社製FMVシリーズで採用されているDFP規格のデジタルインターフェースに変換するコネクタを標準添付しています。

● 省スペース

CRTディスプレイに比べ、わずかなスペースしかとりません。限られたスペースを有効に活用できます。

● 低消費電力(LCD-DV15H・・・35W、LCD-DV141H・・・25W)

同等画面サイズのCRTディスプレイに比べ省電力です。
発熱量もはるかに少なくなっています。

● DPMS（Display Power Management Signaling）に対応

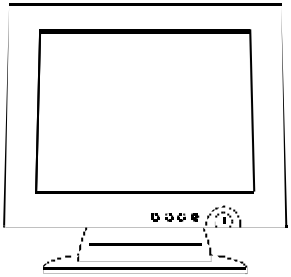
Windows 98/95の［画面のプロパティ］、Windows 2000の[電源オプション]で設定することにより、パソコンを使用していない時の液晶ディスプレイの消費電力を抑えます。【省電力設定について】（P47参照）

● VESA規格の固定器具に対応

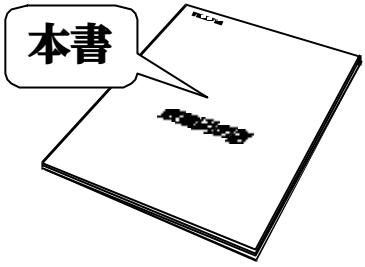
VESA規格に準拠したアームや壁掛けなどの固定器具に対応しました。
省スペース性を最大限に生かすことができます。
※アームや壁掛け用などの固定器具製品は、別途ご用意ください。
　固定にあたっては、4×10㎜のタッピングビスが必要となります。

箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。
□にチェックをつけながら、ご確認ください。



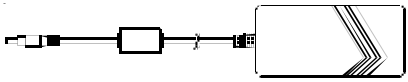
□ **液晶ディスプレイ**
[LCD-DV15HまたはLCD-DV141H]



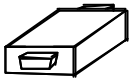
☑ **LCD-DV15H LCD-DV141H**
取扱説明書

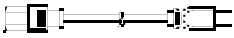


□ **デジタル接続ケーブル（3m）**



□ **ACアダプタ**

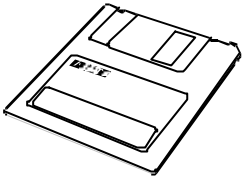




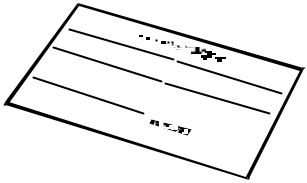
□ **ACケーブル**

□ **DFP（凸）-DVI（凹）変換コネクタ**

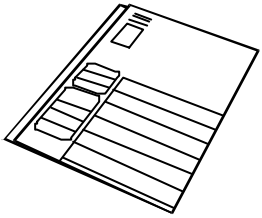
箱の中には



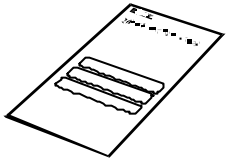
☐ **LCDシリーズサポートソフト**
［3.5インチ2HD（1.44MB）］



☐ **ハードウェア保証書**



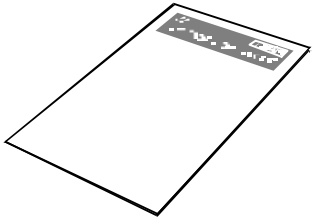
☐ **ユーザー登録カード**



☐ **Verシール**



☐ **ハードウェアシリアルNo.シール**



☐ **『安全で快適にお使いいただくために』**

万一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

お願い：箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。

動作環境

●対応機種

デジタルディスプレイ出力（DVI規格準拠）を搭載した下記の機種

- PC98-NXシリーズ、DOS/Vマシン（弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っています。）
- Power Macintosh G4シリーズ

※ DFP規格のデジタルディスプレイ出力を搭載したパソコンには添付の変換コネクタ（DFP（凸）-DVI（凹）変換コネクタ）を使用して接続します。

ユーザー登録しよう

1 添付のVerシールを、ユーザー登録カード、サポートソフトウェアディスク、本書の巻末の「Verシール」と書かれている部分に貼ってください。

2 添付のハードウェアシリアルNo.シールを、ユーザー登録カード、ハードウェア保証書に貼ってください。

3 **●オンライン登録する場合（ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ http://www.iodata.co.jp/）**

インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録を行ってください。

I-O DATA ホームページに「オンライン・ユーザー登録」ボタンが用意されています。このボタンをクリックするとオンライン登録の案内が表示されますので、画面の表示にしたがって必要事項を記入して、ユーザー登録を行ってください。

オンライン・ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

●ハガキで登録する場合

ユーザー登録カードに、必要な事項をご記入のうえ、弊社まで必ずご返送ください。

・弊社では、サポートセンターでソフトウェアのバージョンアップサービスなどを行っておりますが、これらのサービスはユーザー登録を行った方のみが対象となります。お買い上げいただいた製品ごとに必ず登録を行ってください。
・ユーザー登録カードによる登録の場合、必要事項のご記入もれや必要なシールの貼り忘れがあった場合は、ユーザー登録できません。必ずご確認ください。

実行用ディスクを作ろう

本製品に添付されているサポートソフトは、**Windows 98/95/2000をご使用の方のみ必要です。**Windows 98/95/2000をご使用の方は、必ず以下の方法でバックアップを取り、バックアップディスクの方を実行用ディスクとしてご使用ください。
(以下の例は、フロッピーディスクドライブがAドライブの場合です。)

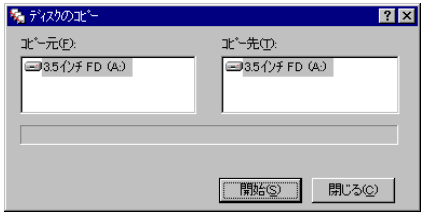
1 フォーマット済みの空きフロッピーディスクを用意します。

空きフロッピーディスクは「3.5インチ2HD：1.44MB」を用意します。

2 サポートソフトを書き込み禁止にします。

3 ディスクのコピーを行います。

[マイ コンピュータ]の「3.5インチ FD」を右クリックし「ディスクのコピー」を選択します。



4 メッセージにしたがって、バックアップを取ります。

サポートソフトと空きフロッピーディスクをメッセージにしたがって入れ替えながら、バックアップを取ります。

サポートソフトを破損した場合の修理は有償です。
必ず本手順を行い、サポートソフトは大切に保管しましょう。

取り付けよう

ここでは本製品の各部の名称・機能および、パソコンに取り付ける方法について説明します。

各部の名称と機能について(P10)

本製品の各部分の名称とその機能について説明します。

↓

取り付けよう(P12)

本製品をパソコンに接続します。

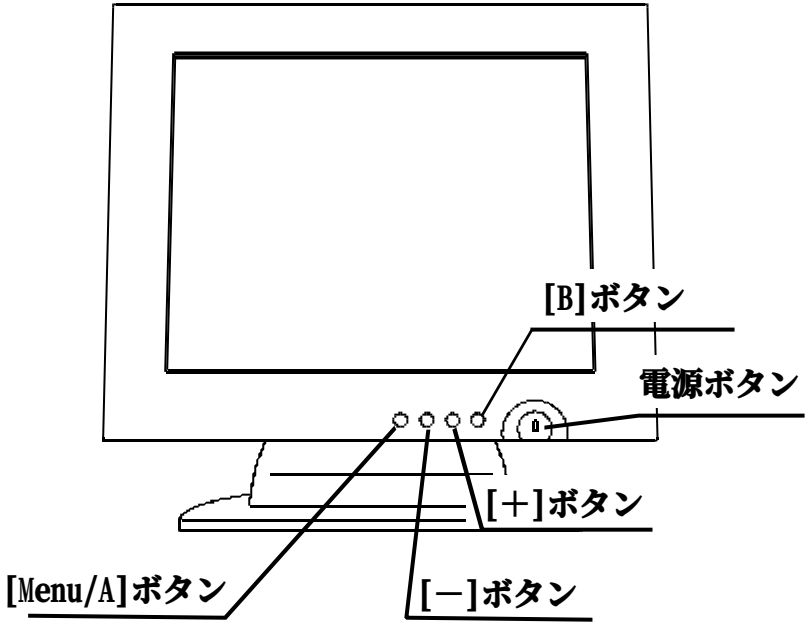
↓

取り付けは終了しました(P14)

Windows 98/95をご使用の場合
【Windows 98/95でご使用の場合】（P15）へ
お進みください。
Windows 2000をご使用の場合
【Windows 2000でご使用の場合】（P29）へ
お進みください。

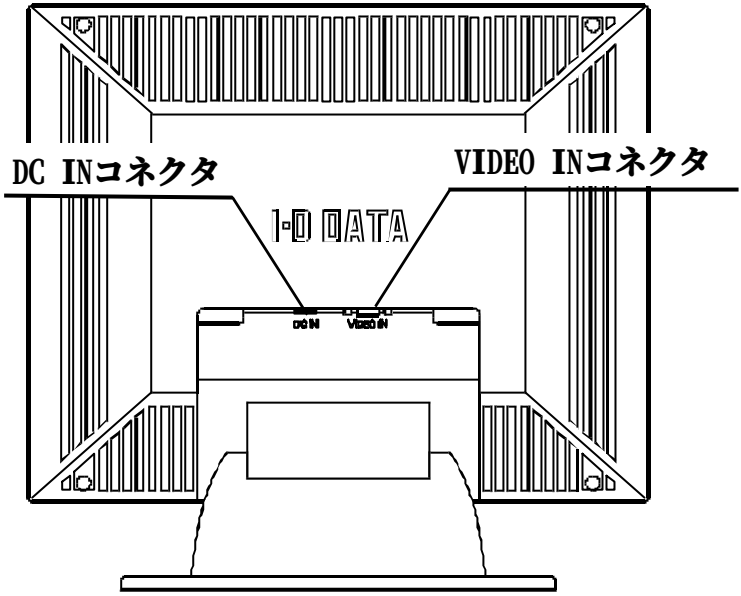
各部の名称と機能について

● **正面**



[Menu/A]ボタンから[B]ボタンまでの４つは画像調整を行うときに使用します。使い方の詳細は【画像を調整するには】（P37）を参照してください。

●背面



コネクタ	意味
DC IN	付属のACコネクタを差し込みます。
VIDEO IN	付属の接続ケーブルを差し込みます。

取り付けよう

ここでは、本製品をパソコンに取り付ける手順について説明しています。
（次ページの接続図もご参照ください。）

1 ACケーブルとACアダプタを接続します。

2 本製品のDC INコネクタにACアダプタのコネクタを接続します。

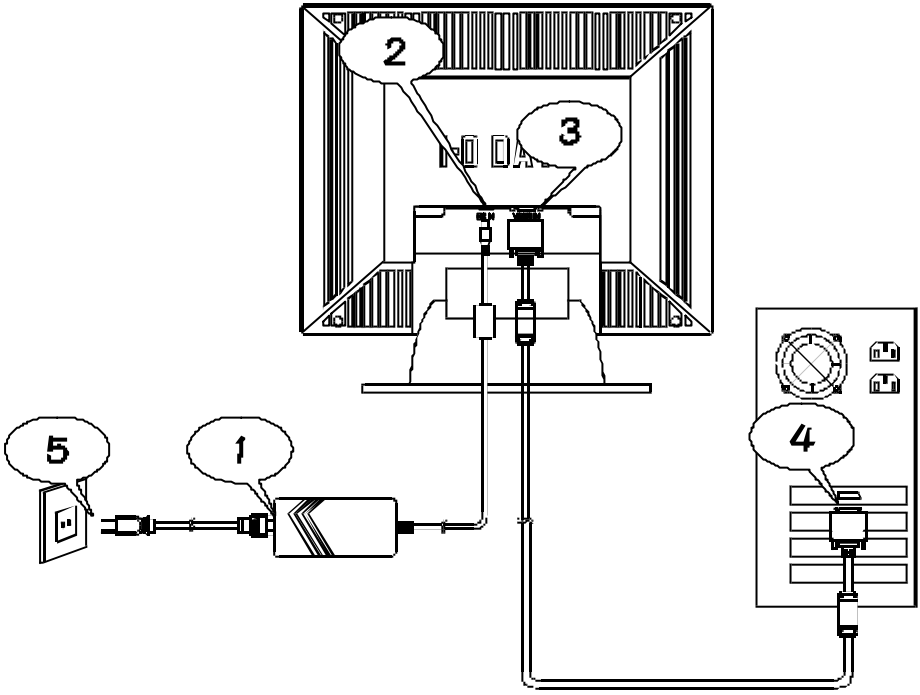
3 本製品のVIDEO IN端子に接続ケーブルを接続します。

ネジを最後まできちんとしめてください。

4 接続ケーブルのもう一方をパソコンのデジタルディスプレイ出力に接続します。

パソコンやグラフィックボードのデジタルディスプレイ出力に接続ケーブルのもう一方のコネクタを接続し、ネジを最後まできちんとしめてください。
※ご使用のパソコン（グラフィックボード）がDFPコネクタの場合、添付の変換コネクタをご使用ください。

5 ACケーブルを電源に接続します。


2
3
5
1
4

取り付けは終了しました

Windows 98/95をご使用の場合

さらに次ページの【Windows98/95でご使用の場合】をお読みください。

Windows 2000をご使用の場合

さらに【Windows 2000でご使用の場合】（P29）をお読みください。

Windows 98/95/2000以外をご使用の場合

そのまま本製品をお使いいただけます。

Windows 98/95でご使用の場合

ここでは本製品をWindows 98/95で使用する際の確認・設定について説明します。

本製品をWindows 98/95以外で使用する場合は、本章をお読みになる必要はありません。

インストールしよう(P16)

インストール手順について説明します。

↓

確認しよう(P27)

インストールおよび接続が正常かどうか確認します。

インストールしよう

ここではサポートソフトをインストールする手順を説明します。
手順はOSおよびOSのバージョンによって異なりますので、それぞれOSに合った部分をお読みください。

Windows 98の場合 …… 17

Windows 95 4.00.950/4.00.950aの場合 …… 21

Windows 95 4.00.950 B/4.00.950 Cの場合 …… 24

《Windows 95のバージョンの確認》

①[マイコンピュータ]を右クリックし、表示された「プロパティ」をクリックします。

②[システムのプロパティ]に表示される番号がWindows 95のバージョンです。



Windows 98の場合

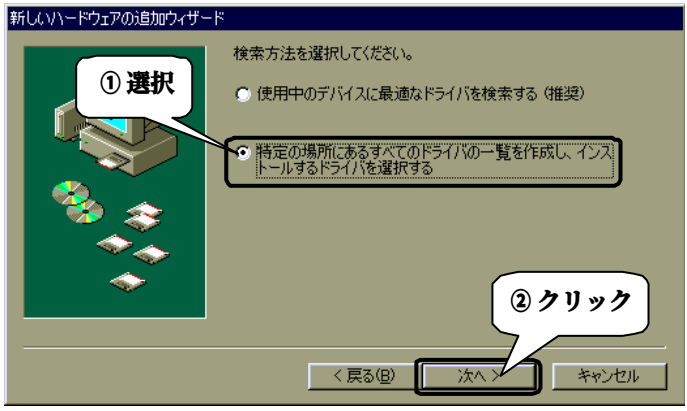
1 Windows 98を起動します。

2 ［次へ］ボタンをクリックします。

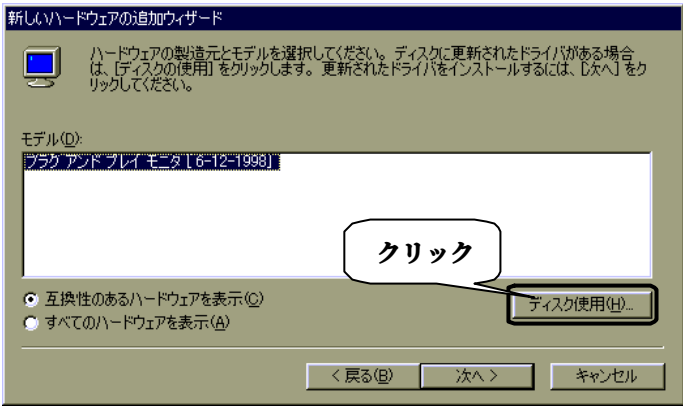
本製品が自動的に認識されます。



3 ［特定の場所にあるすべての……］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。



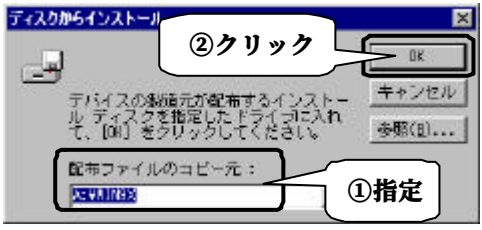
4 ［ディスク使用］ボタンをクリックします。



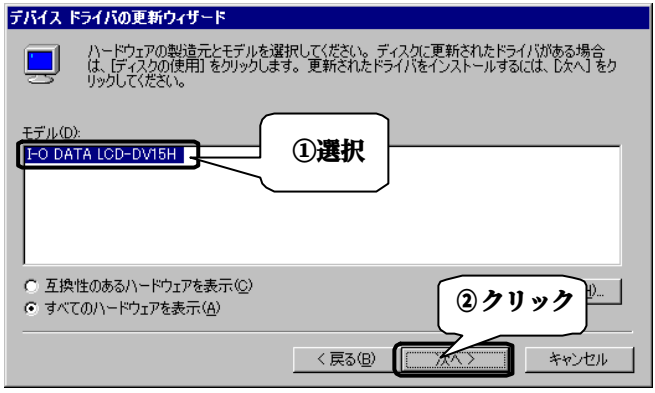
5 「LCDシリーズサポートソフト」を挿入します。

6 ［配布ファイルのコピー元］でフロッピーディスクドライブのWIN9Xフォルダを指定し、［OK］ボタンをクリックします。

例） A:\WIN9X （フロッピーディスクドライブがAの場合）

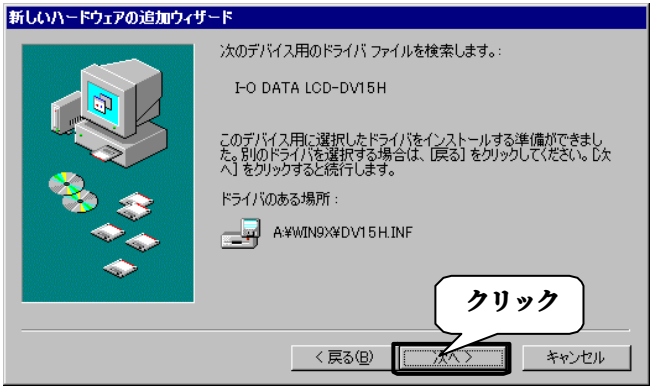


7 **［I-O DATA LCD−DV15H］または［I-O DATA LCD−DV141H］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。**

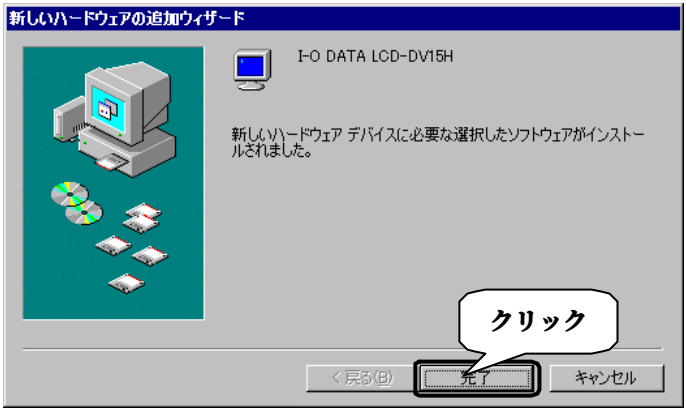


8 **［次へ］ボタンをクリックします。**

9 **［次へ］ボタンをクリックします。**



10 ［完了］ボタンをクリックします。



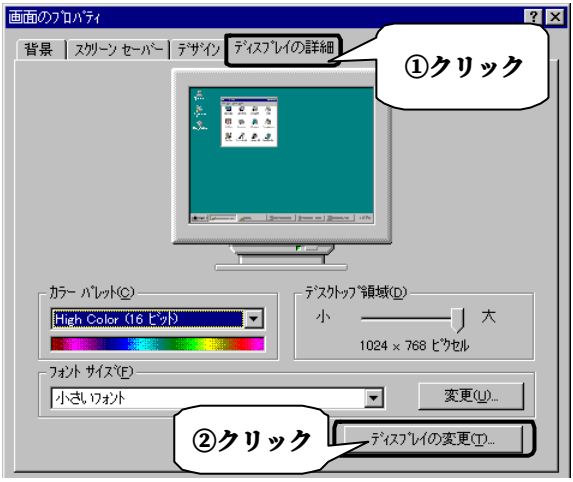
以上でWindows 98のインストールは終了です。
【確認しよう】(P27)にお進みください。

Windows 95 4.00.950/4.00.950aの場合

1 ［画面のプロパティ］を起動します。

デスクトップ（壁紙など）を右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

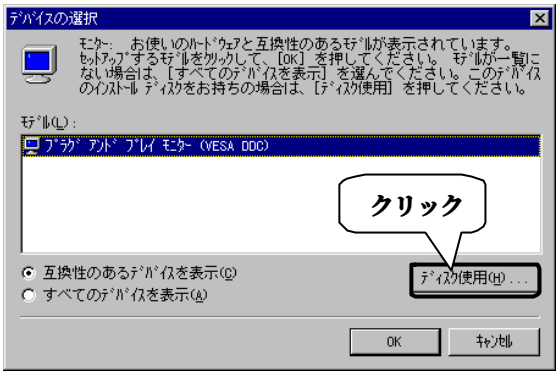
2 ［ディスプレイの詳細］タブをクリックし、［ディスプレイの変更］ボタンをクリックします。



3 [ディスプレイの種類]の［変更］ボタンをクリックします。



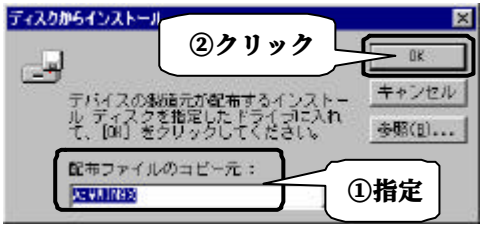
4 ［ディスク使用］ボタンをクリックします。



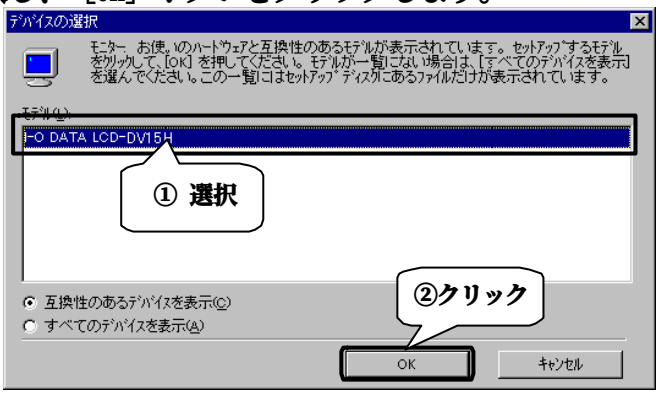
5 「LCDシリーズサポートソフト」を挿入します。

6 ［配布ファイルのコピー元］でフロッピーディスクドライブのWIN9Xフォルダを指定し、［OK］ボタンをクリックします。

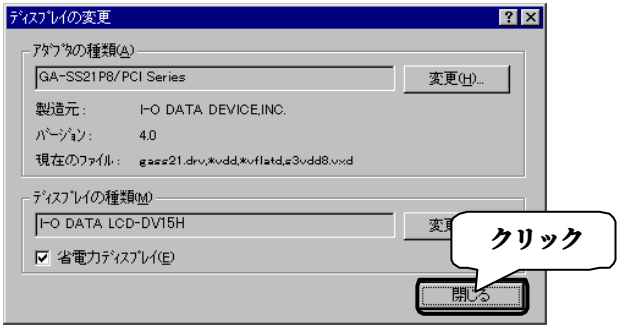
例） A:\WIN9X （フロッピーディスクドライブがAの場合）



7 ［I-O DATA LCD−DV15H］または［I-O DATA LCD−DV141H］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。



8 ［閉じる］ボタンをクリックします。



9 あとは画面の指示に従い、［OK］ボタンをクリックします。

以上でWindows 95 4.00.950/4.00.950aのインストールは終了です。
【確認しよう】(P27)にお進みください。

Windows 95 4.00.950B/4.00.950Cの場合

1 ［画面のプロパティ］を起動します。

デスクトップ（壁紙など）を右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

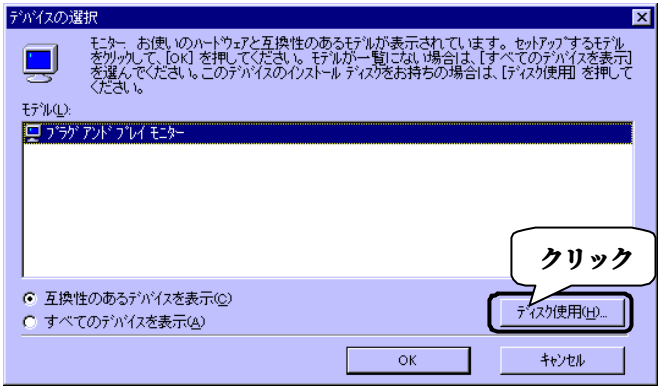
2 ［ディスプレイの詳細］タブをクリックし、［詳細プロパティ］ボタンをクリックします。



3 [モニター]タブをクリックし、［変更］ボタンをクリックします。



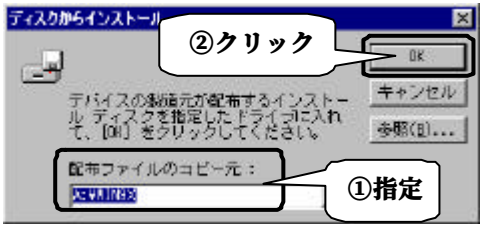
4 ［ディスク使用］ボタンをクリックします。



5 「LCDシリーズサポートソフト」を挿入します。

6 ［配布ファイルのコピー元］でフロッピーディスクドライブのWIN9Xフォルダを指定し、［OK］ボタンをクリックします。

例） A:\WIN9X （フロッピーディスクドライブがAの場合）



7 **［LCD－DV15H］または［LCD－DV141H］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。**



8 **あとは画面の指示に従い、［OK］ボタンをクリックします。**

以上でWindows 95 4.00.950 B/4.00.950 Cのインストールは終了です。
次ページの【確認しよう】にお進みください。

確認しよう

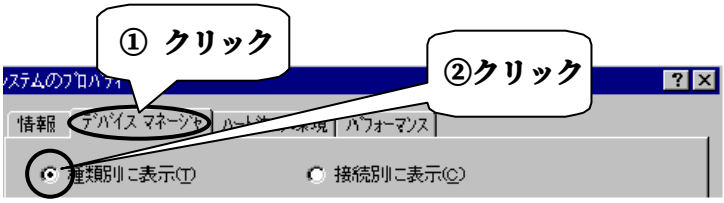
ここでは本製品がWindows 98/95で正常に認識されているかどうかを確認する方法について説明します。

本製品の正常認識確認

1 ［システムのプロパティ］を開きます

［マイコンピュータ］を右クリックし、表示された「プロパティ」をクリックします。

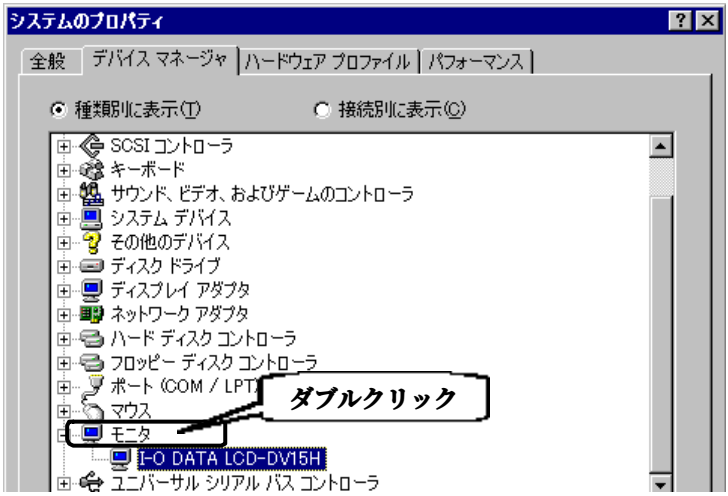
2 ［デバイスマネージャ］タブを開き、［種類別に表示］を選択します。



PC98-NXシリーズをお使いで「デバイス　マネージャ」タブが表示されない場合

1.［スタート］→［プログラム］→［Cyber Trio-NX］（［NXユーティリティ］または［NXの設定］）→［Cyber Trio-NXセットアップ］を選択します。
2.［アドバンスモード］にチェックし、Windowsを再起動します。
3.再度手順の *1* から行います。

3 ［モニタ］をダブルクリックします。



4 本製品が正常に認識されていることを確認します。

[I-O DATA LCD-DV15H]または[I-O DATA LCD-DV141H]と表示されている場合は、正しく認識されています。

正しく表示されていれば正常です。

本製品をお使いください。

解像度・色数の変更は、［画面のプロパティ］で行います。
（デスクトップ上を右クリックして、表示された［プロパティ］をクリックします。）

Windows 2000でご使用の場合

ここでは本製品をWindows 2000で使用する際の確認・設定について説明します。

本製品をWindows 2000以外で使用する場合は、本章をお読みになる必要はありません。

インストールしよう(P30)

インストール手順について説明します。

↓

確認しよう(P35)

インストール及び接続が正常かどうか確認します。

インストールしよう

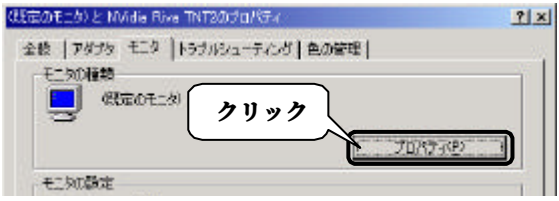
1 Windows 2000を起動します。

2 デスクトップ上で右クリックして、[プロパティ]を選択します。

3 [設定]タブをクリックし、[詳細]ボタンをクリックします。



4 [モニタ]タブの[プロパティ]をクリックします。



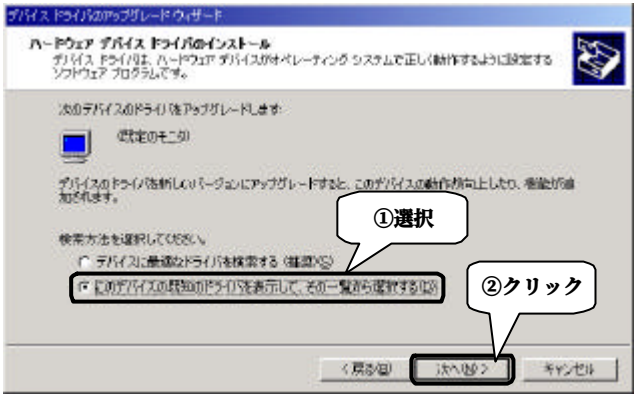
5 [ドライバ]タブの[ドライバの更新]をクリックします。



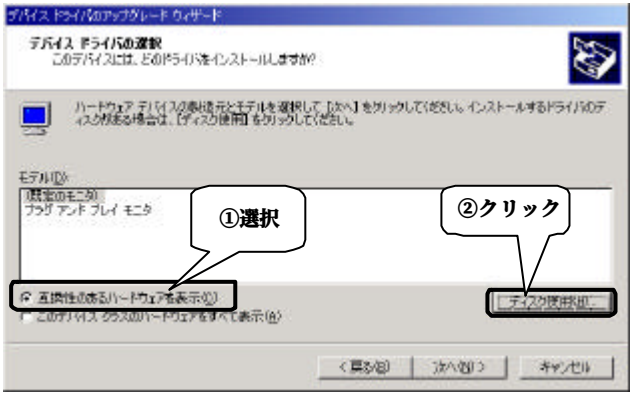
6 [次へ]をクリックします。



7 [このデバイスの...]を選び、[次へ]をクリックします。



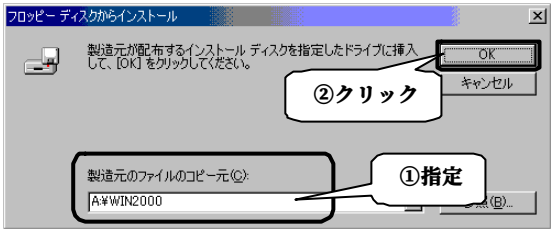
8 [互換のある...]を選び、[ディスク使用]をクリックします。



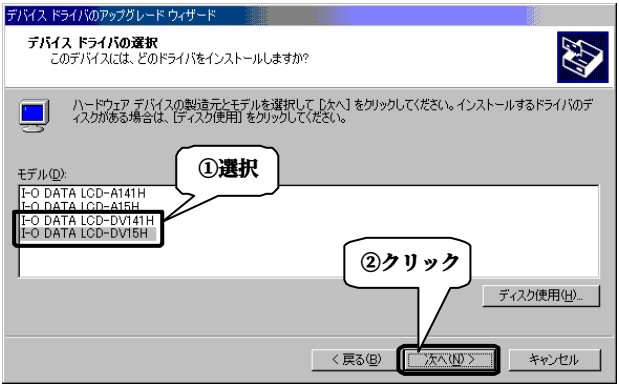
9 「LCDシリーズ サポートソフト」を挿入します。

10 ［製造元のファイルのコピー元］でフロッピーディスクドライブのWIN2000フォルダを指定し、［OK］ボタンをクリックします。

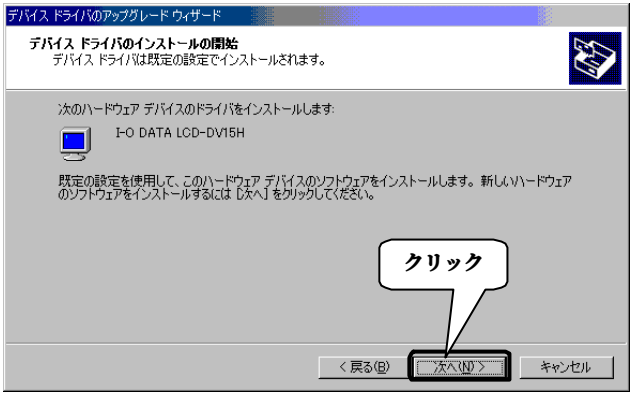
例） A:\WIN2000 （フロッピーディスクドライブがAの場合）



11 ［LCD－DV15H］または［LCD－DV141H］を選択し、[次へ]をクリックします。



12 モニタの種類を確認して、[次へ]ボタンをクリックします。



13 「完了」ボタンをクリックします。

以上でWindows 2000のインストールは終了です。
【確認しよう】(次ページ)にお進みください。

確認しよう

ここでは、本製品がWindows 2000で正常に認識されているかどうかを確認する方法を説明します。

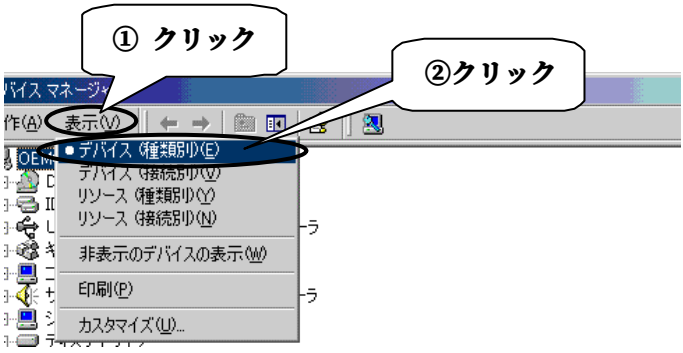
本製品の正常認識確認

1 ［システムのプロパティ］を開きます

［マイコンピュータ］を右クリックし、表示された[プロパティ]をクリックします。

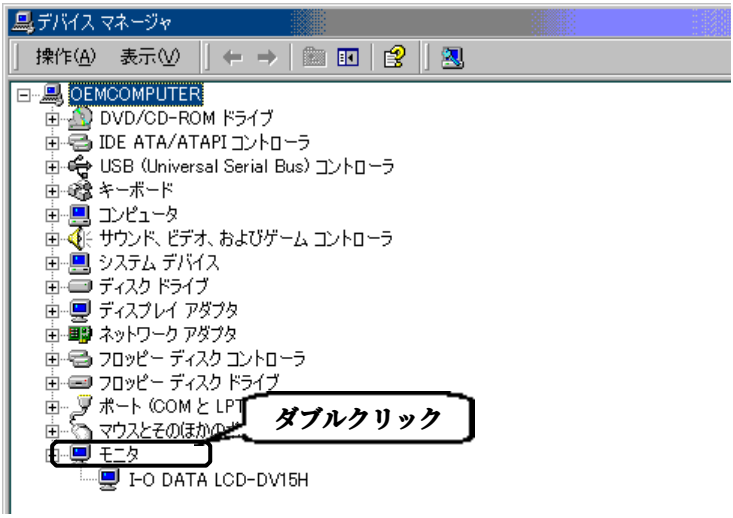
2 ［ハードウエア］タブを開き、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします

3 ［表示］→[デバイス（種類別）]を選択します。



Windows 2000の場合

4 ［モニタ］をダブルクリックします。



5 本製品が正常に認識されていることを確認します。

[I-O DATA LCD-DV15H]または[I-O DATA LCD-DV141H]と表示されている場合は、正しく認識されています。

正しく表示されていれば正常です。

本製品をお使いください。

> 解像度・色数の変更は、［画面のプロパティ］で行います。
> （デスクトップ上を右クリックして、表示された［プロパティ］をクリックします。）

画像を調整するには

ここでは本製品の画像を調整する方法について説明します。この操作はどの機種や使用OSでも同じです。

本製品は工場出荷時に適正値に設定されておりますので、特に必要でない限り、画像を調整する必要はありません。

ボタンについて(P38)

画像調整の際に使うボタンの名称、機能を説明します。

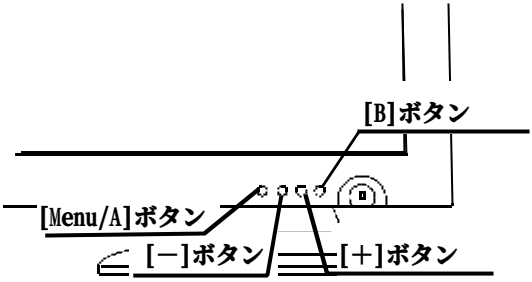
↓

各設定項目の詳細(P39)

各項目の機能を説明します。

ボタンについて

●各ボタンの名称



●各ボタンの機能

ボタン	機能
Menu/A	MAIN MENU（次ページ）を表示します。表示中に押すとMAIN MENUを閉じます。
－	縦に並んでいる設定項目を選択時に、下に移動します。 設定項目調整時は、値を減らします。 MAIN MENUが表示されていない時に押すと、CONTRAST（次ページ）の調整ができます。
＋	縦に並んでいる設定項目を選択時に、上に移動します。 設定項目調整時は、値を増やします。 MAIN MENUが表示されていない時に押すと、CONTRAST（次ページ）の調整ができます。
B	設定項目を選択時に、設定する項目を決定します。

●ボタンの使い方

1 **[Menu/A]ボタンを押します。**

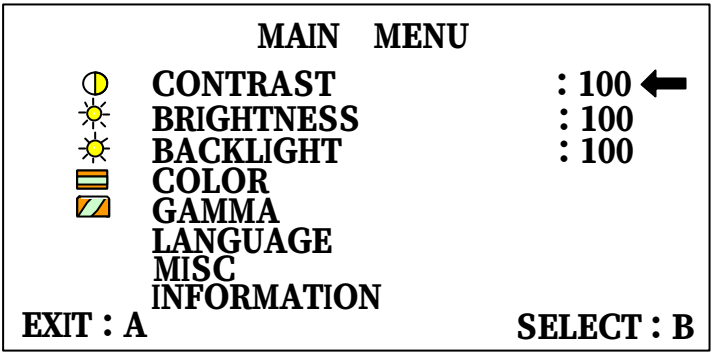
2 **[－]、[＋]ボタンで設定項目を選び、決まったら[B]ボタンを押します。**

3 **[－]、[＋]ボタンで調整後、[B]ボタンを押します。**

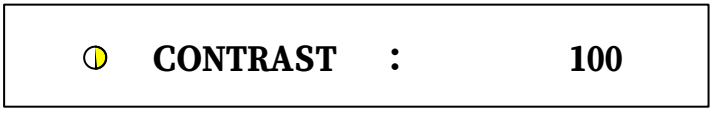
4 **他に設定したい項目がある場合は再度 *2* から作業します。終わりたい場合は、[Menu/A]ボタンを押します。**

各設定項目の詳細

▼ MAIN MENU



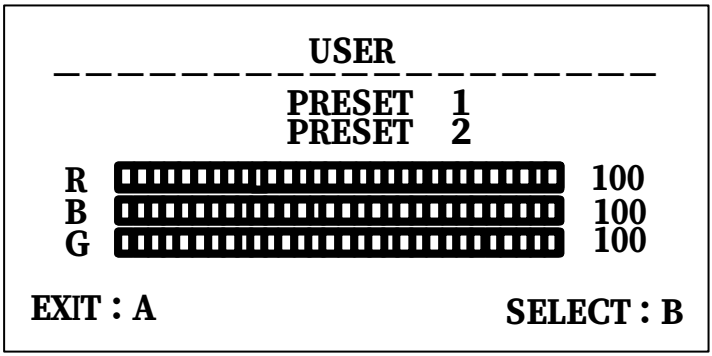
▼ CONTRAST



項目	意味
CONTRAST	コントラストの調整ができます。（設定範囲：0～100）
BRIGHTNESS	輝度（明るさ）の調整ができます。（設定範囲：0～100）
BACKLIGHT	バックライトの明るさが調整できます。（設定範囲：0～100）
COLOR	色合いを調整できます。　P40
GAMMA	ガンマ補正ができます。　P40
LANGUAGE	表示言語が変更できます。　P41
MISC	OSDの表示位置、大きさが設定できます。　P41
INFORMATION	現在の解像度、水平/垂直周波数を表示します。

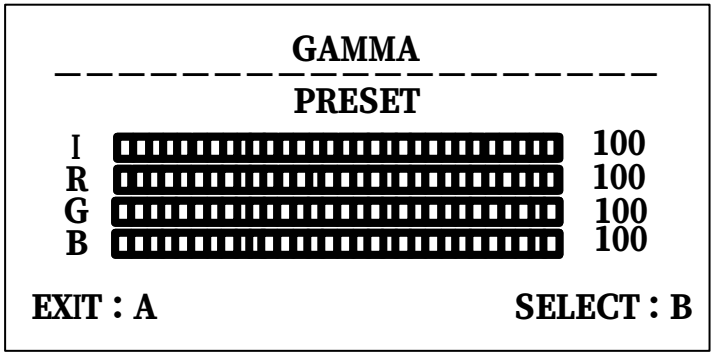
各設定項目の詳細

●色合い調整（COLOR）



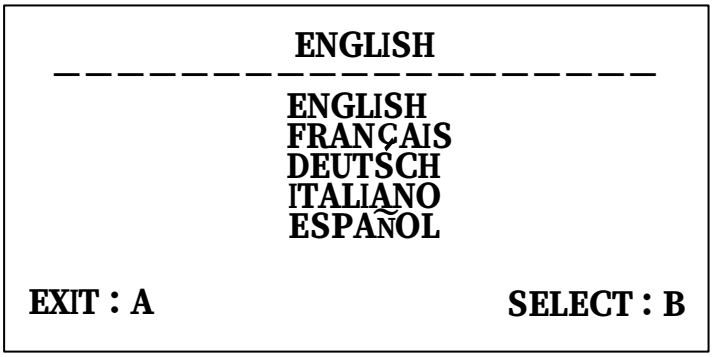
[USER]では[R]、[G]、[B]を自由に設定できます。（設定範囲：各0～100）
[PRESET1]、[PRESET2]ではあらかじめ設定された値になります。

●ガンマ補正（GAMMA）

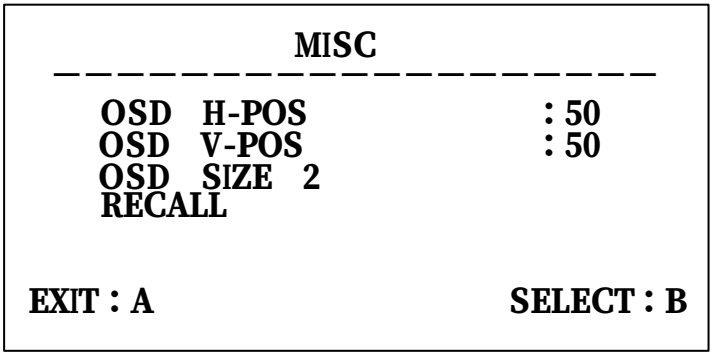


[I]、[R]、[G]、[B]を自由に設定できます。（設定範囲：各0～100）
[PRESET]ではあらかじめ設定された値になります。

●表示言語（LANGUAGE）

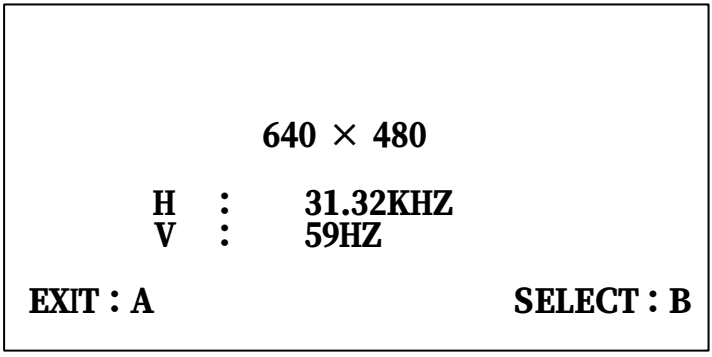


●OSD表示位置、大きさ調整（MISC）



[OSD H-POS]で横軸位置、[OSD V-POS]で縦軸位置を設定します。
（設定範囲：各0～100）
[OSD SIZE1]で大、[OSD SIZE2]で小になります。
[RECALL]で全ての値を初期値に戻します。

●解像度、周波数の表示（INFORMATION）



上から解像度、水平周波数、垂直周波数の順に表示されます。

ふろく

困った時には(P44)
本製品を使用中に、トラブルがあったときにご覧ください。

省電力モードにする(P45)
省電力モードについて説明します。

省電力設定について(P47)
省電力設定の方法です。詳細については、各Windowsの取扱説明書をご覧ください。

用語解説(P48)
本書内の用語について説明します。

ハードウェア仕様(P51)
本製品の仕様について説明します。

困った時には

電源を入れた直後から画面に何も表示されない

原因１ 液晶ディスプレイの電源が入っていません

本製品の電源が入っているか、また本製品の電源ランプが点灯しているかご確認ください。

原因２ 本製品が正しく取り付けられていません

電源を切り、もう一度接続ケーブルとデジタルディスプレイインターフェイスの接続をやり直してください。

原因３ 本製品の解像度の範囲を超えています

解像度の調整を行って見てください。

電源を切り、もう一度接続ケーブルとデジタルディスプレイインターフェイスの接続をやり直してください。

画像が小さい、または歪んでいる

原因１ 本製品が正しく取り付けられていません

電源を切り、もう一度接続ケーブルとデジタルディスプレイインターフェイスの接続をやり直してください。

原因２ 磁気を帯びたものが近くにあります

磁気を帯びたものからパソコン本体および本製品を遠ざけてください。

省電力モードにする

省電力モードを働かせるには、パソコン側で設定が必要です。本製品では、特に設定は必要ありません。
キーボードやマウスの操作をすると省電力モードから復帰します。なお、この機能はVESA DPMS規格に準拠しています。

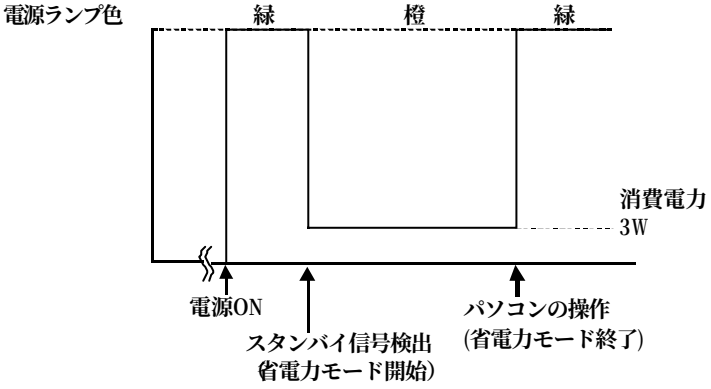
・パソコンの設定

省電力モードを働かせるためには、お使いのパソコンにあった設定を行ってください。具体的な設定方法については、パソコンなどの取扱説明書をご覧ください。

なお、省電力モードを働かせるためには、グラフィックアクセラレータボードがVESA DPMSに対応している必要があります。

・VESA DPMS対応のディスプレイ省電力の流れ

グラフィックボードから出力される「オン」、「スタンバイ」、「サスペンド」、「オフ」の4種類の信号の変化をディスプレイが検出して、省電力モードに入ったり、復帰したりします。



※本製品では「スタンバイ」、「サスペンド」、「オフ」のうちいずれかの信号を認知した場合でも省電力モードに入ります。

※省電力モードとは・・・
一定時間パソコンを操作しなかった場合に、自動的にディスプレイの消費電力を抑える機能のことです。省電力モード時は画面は真暗になります。

※国際エネルギースタープログラムとは・・・
コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意の制度となっており、対象製品及びそれぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

「弊社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。」

省電力設定について

省電力の設定方法です。ご参考ください。（詳細については、各Windowsの取扱説明書をご覧ください。）

《Windows 98/95での設定方法》

① デスクトップ上で右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

② Windows98の場合

［設定］タブ→［詳細］ボタン→［モニタ］タブの順にクリックします。

Windows95 4.00.950/4.00.950aの場合

［ディスプレイの詳細］タブ→［ディスプレイの変更］ボタンの順にクリックします。

Windows95 4.00.950 B/4.00.950 Cの場合

［ディスプレイの詳細］タブ→［詳細プロパティ］ボタン→［モニター］タブの順にクリックします。

③ [省電力モニタ]をチェックします。

④ [OK]ボタンをクリックします。

⑤ [スクリーンセーバー]タブをクリックします。

⑥ [ディスプレイの省電力機能]を設定します。

⑦ [OK]ボタンをクリックします。

《Windows 2000での設定方法》

① [マイコンピュータ]→[コントロールパネル]→[電源オプション]を開きます。

② [電源設定]タブを開きます。

③ [モニタの電源を切る]で省電力になるまでの時間を設定します。

用語解説

DFP規格

VESAで決められたデジタルディスプレイインターフェースの規格。MDR20Pinコネクタで接続します。

DVI規格

デジタル液晶モニター用のDDWGで定められた標準インターフェイス規格。富士通、コンパック、IBM等（順不同）がパソコン本体および液晶ディスプレイに採用。

DPMS(Display Power Management Signaling)

VESA（Video Electronics Standards Association）が策定した、ディスプレイの節電機構をパソコン本体側から制御するための規格。省電力機能は、ディスプレイのHSYNC／VSYNC（水平／垂直走査周波数）を制御することでReady、Standby、Suspend、Offの４つの節電レベルを可能とします。

OSD(On Screen Display)

ディスプレイの一部に設定値を表示しながら、設定が可能なディスプレイの機能。

TFT(Thin Film Transfer liquid crystal)

アクティブ・マトリックス型液晶の一種。
液晶画面の各ドットは、薄膜トランジスタ(TFT)で制御します。現状、他の液晶技術（STN,DSTN等）に比べ、品質面では最も優れています。

TMDS（Transition Minimized Diferential Signaling）

Silicon Image社が開発したPanelLink Technologyに基づいたホストPCとデジタルモニターとの間の画像データのインターフェイスに関する規格です。

インタレース表示

まず、画面の左上から奇数ラインだけを走査し、再び左上に戻り、今度は偶数ラインを走査するという走査方式です。
１画面表示するのに電子ビームが２回走査する必要があります。この走査方式は、走査周波数が低いのでディスプレイの種類により画面がちらつく場合があります。チラツキは垂直解像度が高くなれば、よけいに目立ちますので、チラツキが多い場合は解像度を低くするか、ノンインタレースフリッカーフリー表示かノンインタレース表示を選びます。

走査線周波数

ディスプレイはドットの集まりです。ディスプレイは左上から右下に向かって電子ビームで必要なドットを光らせて画像を表示しています。「走査する」とは、電子ビームが動く、つまり画像が表示されるという意味です。
走査周波数とは、ちょうど電子ビームの動く速さを示す「メトロノーム」のようなもので、走査周波数が高いほど電子ビームが速く動く、つまり画像表示が速いということになります。走査周波数を低くすると画面のちらつきが目立つようになります。逆に走査周波数を高くすると画面のチラツキは目立たなくなります。

デジタル入出力

デジタルデータをコンピュータから入力したり、出力したりすること。
本製品は、ビデオメモリのデジタルデータを、D/A及びA/Dコンバータを通さずダイレクトにディスプレイ表示していますので、データの劣化がほとんどありません。

ドット

文字や図形を表現する基本単位となる点のこと。ピクセルとも呼ばれます。パソコンで扱う文字や図形は、このドットの集まりで表現されます。

ドット抜け

TFTパネル等平面パネルは、非常に高度な技術を使用していますが、生産過程の諸条件により液晶格子の一部が上手く形成されない場合があります。現在の技術は99.99%以上の精度で液晶格子が形成されています。すべて完全な液晶格子を形成することは現在の技術水準でも難しいのが現状です。

ノンインタレース表示

画面の左上から右下まで１ラインごとに全ラインを１度に走査する走査方式です。１画面表示するのに１回の走査ですむ代わり、電子ビームを速く動かす必要があります。そのため、インタレース表示より高い周波数が必要になりますが、インタレース表示よりはチラツキが少なくなります。

フリッカー

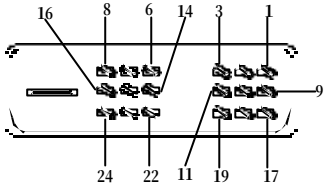
画面のチラツキをいいます。画面上のあるドットを光らせたとします。次にそのドットを光らせるまで光っていてほしいのに、その光が消えてしまったとします。すると、「光らせる→光らせる＝ずっと光っている」となるところが、「光らせる→消える→光らせる」となり、点滅したような状態になります。この点滅が、人間の目から見るとちらついている、つまりフリッカーが発生しているということになります。

ハードウェア仕様

	LCD-DV15H	LCD-DV141H
パネルタイプ	15インチTFT※1	14.1インチTFT※1
表示面積	304.1mm(水平) x 228.1mm(垂直)	285.7(水平) x 214.3mm(垂直)
最大表示解像度	1024 x 768(XGA)	
画素ピッチ（mm）	0.297mm(水平) x 0.297mm(垂直)	0.279mm(水平) x 0.279mm(垂直)
表示色	最大1,677万色	最大1,619万色※2
視野角度	水平方向: ±60° 垂直方向: +55°,-45°	水平方向: ±45° 垂直方向: +35°,-15°
最大輝度	200cd/m^2	230cd/m^2
コントラスト	350:1	250:1
応答速度	40ms	50ms
入力信号	デジタル（DVI24pin）	
外形寸法（W*D*H）	400*158*378（mm）	
質量	4.2Kg	4.4Kg
使用温度条件	動作時：0℃～+40℃ 収納時：-20℃～+60℃	
使用湿度条件	20%～80%（結露なきこと）	
定格電圧	DC 12V	
消費電力 通常時	最大35W	最大25W
消費電力 サスペンド時	3W	3W
パワーマネジメント	VESA DPMS互換	
バックライト寿命	約25000時間	約50000時間
その他	VESAマウントインターフェイス規格準拠	

※1 液晶ディスプレイ上に黒点(点灯しない点)や輝点(点灯したままの点)がある場合がありますが、故障あるいは不良ではありません。ご了承ください。
※2 ディザリング使用

●デジタルコネクタ形状・ピンアサイン



DVIピンコネクタ

端子番号	内容
1	TMDSデータ2-
2	TMDSデータ2+
3	TMDSデータ2/4シールド
4	未結線
5	未結線
6	DDCクロック
7	DDCデータ
8	未結線
9	TMDSデータ1-
10	TMDSデータ1+
11	TMDSデータ1/3シールド
12	未結線
13	未結線
14	+5Vパワー
15	グランド
16	ホットプラグ検知
17	TMDSデータ0-
18	TMDSデータ0+
19	TMDSデータ0/5シールド
20	未結線
21	未結線
22	TMDSクロックシールド
23	TMDSクロック+
24	TMDSクロック-

●解像度および周波数

表示モード	解像度	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
Windows	640×480	31.5	59.9
	800×600	37.9	60.3
	1024×768	48.4	60.0
英語テキストモード	720×400	31.5	70.1
Power Macintosh	640×480	31.5	59.9
	800×600	37.9	60.3
	1024×768	48.4	60.0

※ パソコンからの信号は全てノンインタレースであること。
※ 表示解像度、表示色数は接続するグラフィックボードによって異なります。

サポートセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
ご使用の弊社製品名と、サポートソフトウェアディスクのシリアルNo.
ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.co.jp/support/
「サポートセンターお問い合わせ」内のフォームを
使用して、E-Mailをお送りください。
@nifty　アイ・オー・データステーション（IODATA）　サポート会議室

■郵便

〒920-8513　石川県金沢市桜田町15 街区7　アイ・オー・データ第2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「LCD-DV15H/141H」係　宛

■電話

電話番号　本社　076-260-3366
東京　03-3254-0301
受付時間　9:30～19:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

■FAX

FAX 番号　本社　076-260-3360
東京　03-3254-9055
宛先　株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「LCD-DV15H/141H」係　宛

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

保証について

■保証期間

・保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。お送りいただいた製品を検査後、有償となる場合のみ往復ハガキにて修理金額をご案内致しますので、修理するか否かをご検討の上、往復ハガキにご記入いただきご返送ください。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。

・弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

・本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。
・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。
・バックライトの消耗

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。なお、当サービスはユーザー登録された方のみが対象です。

■オンライン

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	http://www.iodata.co.jp/ →「ｻﾎﾟｰﾄ･ﾗｲﾌﾞﾗﾘ」
@nifty	ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)のﾗｲﾌﾞﾗﾘ4(LIB 4)

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1
株式会社アイ・オー・データ機器
「LCD-DV15H/DV141H」 サービス窓口 宛

電話番号　076-260-3663

受付時間　9:30～12:00 13:00～17:00 月～金曜日(祝祭日を除く)

ご注意

- オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
- 添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。
- このサービスへのご質問は、弊社サポートセンターやバージョンアップ窓口ではお受けできません。

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認のうえ、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  また、修理品のデータに関しましては保証いたしかねます。

- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。

- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇電源ONで挿入、抜去、逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合

- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

- 修理品送付先

住所 **〒920-8513 石川県金沢市桜田町15街区7 ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル**
株式会社アイ・オー・データ機器
「LCD-DV15H/DV141H」 修理係 宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、宅配便または書留郵便小包でのご送付をお願いいたします。

- 修理品納期問い合わせについて

受付窓口 「LCD-DV15H/A141H」サービス窓口
電話番号 金沢 076-260-3663
受付時間 9:30〜12:00 13:00〜17:00
月〜金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、こちらまでお問い合わせください。